

第3回 研究授業

7月10日(水) 高学年部会



ねらいに合った発問を

今回は5年生の授業です。「ロレンゾの友達」は研究授業で扱われることが多く、私自身も研究授業で実践した経験や他の先生の研究授業を見た経験などから、さまざまな進め方があると感じています。

高学年部会の先生方の話合いでも、中心発問や補助発問を悩んで決めていらっしゃいました。中心発問に対して、補助発問をどのように設定するかによっても方向性が変わってきます。今回の指導案では、中心発問を「ロレンゾが罪を犯してかえってきていたとしたら」としています。そして、方法論にならずに3人の思いに迫るために、「3人の思いに共通していること」という補助発問を設定しています。この補助発問で、ねらいに迫る授業を目指していることが伺えます。発問同士のつながりにも注目して授業を見ていきたいと思ひます。

1 日時

令和6年7月10日(水)

授業開始 13:30

2 場所

授業 4階 5年2組教室(13:30~14:15)

協議会 3階 多目的室(14:30~16:00)

3 全体会次第

- (1) 学校長より
- (2) 部会提案
- (3) 授業者自己評価
- (4) 研究協議会
グループ協議→発表→全体質疑応答
- (5) 指導・助言(15:15~15:55)
- (6) 謝辞(副校長より)